

冬・サロマ ブルームボール

前回の「サロマの風」でもご紹介しました「ブルームボール」、カナダ発祥でアイスホッケーに似た氷上のスポーツです。

そのブルームボール世界大会がカナダ国サスカチュワン州レジャイナ市で、11月1日～5日の日程で開催されました。佐呂間から日本代表権を勝ち取った“サロマヴァイス”が出場し、本場カナダやアメリカ、ヨーロッパのチームと戦いました。結果は予選全敗、世界とのレベルの差を痛感することになりました。

しかし、予選の結果から、下位チャレンジカップへと進み準決勝で負けましたが、3位決定戦へ進み、予選で負けたカナダチームに延長戦の末、雪辱を果たしみごと3位となりました。

冬季オリンピックの正式種目となり、佐呂間からオリンピックメダリストが誕生する日が近いかもしれません。

ブルームボールを体験したい方は、下記までお問い合わせください。

佐呂間町ブルームボール協会

佐呂間町役場町民課内 01587-2-1213



【東京サロマ会】首都圏に住む佐呂間町出身者等で組織して26年を迎えます。江東区民まつりでのサロマ物産展開催のほか、オホーツク・サロマの旬の毛ガニやホタテを食べる集い、ふるさと旅行などを開催しています。会費等不要、佐呂間町出身者以外の方も入会できます。

◆連絡・問い合わせ先：西沢孝洋（たかひろ）さん
電話 047-449-2107 メール：tm24-sawa@nifty.com

発見 サロマの魅力！



サロマ湖の牡蠣は東北宮城県石巻市にある万石浦という小さな湖が故郷です。

万石浦で夏に採苗した後、翌年の春までそのまま万石浦で育て、4月にトラックでサロマ湖まで運んでサロマ湖で育てます。

牡蠣貝は水中で生息しているものですが、東北から佐呂間までトラック輸送が可能のように、一週間ほど空気に触れていても生きていくくらい強い生命力を持っています。

万石浦で育てられている11月～3月ほどは、浅瀬において、潮が満ちてくると海水に浸かり、潮が引いた時には空気に触れる環境において育てます。この時期が長ければ長いほど、サロマ湖に移されてから大きく成長するという牡蠣には神秘的な魅力がたっぷり詰まっています。



海のミルクと言われる牡蠣。サロマ湖で1・2年で大きく育ちます。殻付きは酒蒸しや焼牡蠣、ムキ牡蠣は酢牡蠣、牡蠣フライでご賞味ください。



佐呂間町役場企画財政課

〒093-0592

北海道常呂郡佐呂間町永代町3番地1

Tel 01587-2-1214 Fax 01587-2-3368

佐呂間町サポーターズ倶楽部ネットワーク

2017年
1月



冬の寒さが厳しくなる時期と言っても今年は冬の到来が少し早いようです。

11月上旬に約30センチの降雪があり、12月に入り氷点下20℃を超える日も、寒さに慣れているはずですが冬の体になるにはもう少し時間が必要です。

冬になると屋外での活動が制限され、家の中にももりがちなようになりますが、佐呂間町ではスキー、ブルームボールなどのスポーツや、サロマ湖での氷上の釣り、スノーモービル乗車などが体験できます。

また、子供から高齢者までの異世代交流を目的に「かまくら雪まつり」が毎年2月に開催されています。

雪の滑り台は子供達に大人気!!その他にも宝探しやたくさんのゲーム大会が行われます。

さて2016年もあと少し、会員の皆様は今年一年いかがな年でしたか?今年も多くの方に倶楽部へ入会をいただき、たくさんの応援メッセージをいただきました。ありがとうございました。

来年は2周年を迎えます。いままで以上に会員の皆様に応援していただける倶楽部となるよう運営していきます。何か面白いアイデアなどがありましたらお知らせください。

そして、これまで以上にサロマを応援してください。来年は酉年、会員の皆さんや倶楽部、そして佐呂間町が大きく羽ばたける一年に!!

We ♥ Saroma

佐呂間ダイアリー



◆ 10月

- 2日 2016 サロマ大収穫祭
- 21日 安保真 現代墨絵アートふるさと展
(~27日)

◆ 11月

- 3日 平成 28 年度佐呂間町功労者表彰式典
〔自治功労〕中道寛雄氏 (川西)
〔自治功労〕香川健一氏 (宮前町)
〔自治功労〕川又則之氏 (西富)
〔自治功労〕谷川哲也氏 (浜佐呂間)
〔社会福祉功労〕日沼洋子氏 (西富)
〔産業功労〕向井正農夫氏 (浜佐呂間)
第 8 回ふれあいチャリティーステージ
- 14日 伊藤金雄さん百寿祝贈呈
- 20日 ミュージックフェスティバル vol. 27
サロマ湖牡蠣まつり

◆ 12月

- 3日 日本ハムファイターズ祝賀会
(飯山裕志選手来町)
- 9日 音届けコンサート
(世界を舞台に活躍する若手声楽家と、
ピアノ、佐呂間高校吹奏楽局の協演)
- 11日 サロマでしゃべる場

佐呂間町の世帯数と人口 (平成 28 年 11 月 30 日)
世帯数 2,480 世帯 人口 5,360 人
佐呂間町サポーターズ倶楽部人口 1,457 人
合計 6,817 人
〔前号人口比較 133 人増加〕

町民の出生届と死亡届 さろサポ新規登録届
10月 出生 0 人 死亡 9 人 117 人
11月 出生 2 人 死亡 11 人 44 人

当日の運営スタッフのほか、かまくら・雪山すべり台などの製作を一週間ほど前から行います。自分たちの雪像づくり体験もできます。



「プロに入れたことが全てではなく、これからが勝負。常に志を高くもって、まずは 1 軍に上がり、北海道で投げている姿を町民の方々に見てもらえるように頑張っていきます。」と意気込みを語る。



川根佐呂間町長にサイン色紙を渡す玉井投手。
札幌ドームのマウンドで投げる姿を早く見たいですね。

サロマ応援イベント

■ 第 18 回かまくら雪まつり

日時：平成 29 年 2 月 12 日 (日曜日)

10:00~13:30

場所：佐呂間町民センター駐車場/老人福祉センター
事前予約先：佐呂間町社会福祉協議会

電話 01587-2-3732

今年のサロマの大きなニュースと言えば、10月20日に行われたプロ野球ドラフト会議にて、本町出身の玉井大翔投手が北海道に本拠地を置く「北海道日本ハムファイターズ」に 8 位指名を受け入団が決定したことでしょ!!

(プロ野球ファンの会員さんをご存知か?)

勿論、佐呂間町初のプロ野球選手の誕生であり、11月25日に地元野球協会主催で開催された「入団をお祝いするセレモニー」には、多くの町民が参加し大いに湧くこととなりました。

玉井投手は、佐呂間町生まれの生粋の「サロマっ子」、小学生から野球を始め佐呂間小学校、佐呂間中学校、高校は親元を離れ旭川実業高校に進学、卒業後は東京農大オホーツクに進学し、一年生投手としては史上初のノーヒットノーランで鮮烈デビューしプロ野球スカウトが注目する選手へ!!

大学卒業後は社会人野球の強豪チーム新日鉄住金かずさマジックに入団し、日本選手権、都市対抗野球で活躍し入団することとなりました。

「入団を応援するセレモニー」に参加した後輩の中学生には、「高校のときは、試合にも出られず悔しい思いをしましたが、それでも夢を諦めずに追いつけた結果がこうやってプロ野球に入ることができました。皆さんも、いろいろなことに挑戦して頑張ってください。」と力強いメッセージをいただきました。

これからの活躍に期待し、会員の皆様にはサロマ共々応援をよろしくお願いいたします。

2016 年 11 月「殻付き牡蠣貝」抽選会当選番号

01191 01232 01402 01588 01600
01611 09001 09004 11037 11039
12045 13037 13092 14013 14058
20004 22006 25004 27025 28005

たくさんのご応募ありがとうございました。